

単元名	1.わたしのまち みんなのまち (オリエンテーション)		教科書の ページ	p.6~7
配当時数	1時間	活動時期	4月	学習指導要 領の内容 (1)アイ

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
(1)オリエンテーション				
<p>・何があるかな。どのような人がいるかな。何をしているのかな。</p> <p>p.6~7</p>	1	<p>①教科書のイラストを見ながら、まちの様子について知っていることや気づいたこと、疑問に思ったことを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一軒家，マンション，デパート，商店街などいろいろな建物がある。 ・大きな通りや，細くて曲がった道がある。 ・鉄道の駅には，多くの人が集まっている。 ・さまざまな種類の車が走っている。 ・郵便配達中の人や，消火訓練をしている人がいる。 ・さまざまな人が，さまざまなことをしている。 	<p>◆キャラクターのせりふから，働いている人の姿に注目させる。</p>	<p>【知技】 発言内容やノートの記述内容から，「イラストからまちの建物の様子，道路や駅の様子，人々の様子などを読み取って，まちの様子に気づいているか」を評価する。</p>
		<p>めあて わたしたちのまちは，どのような様子なのでしょうか。</p>		

小単元名	○学校のまわり		教科書のページ	p. 8~13
配当時数	3 時間	活動時期	4 月	学習指導要領の内容 (1)ア-(7)(イ), イ-(7)

小単元の目標		学校のまわりの様子について、地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめることで学校のまわりの様子をとらえ、場所による違いを考え、表現することを通して、身近な地域の様子を理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	身近な地域の地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などについて観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、身近な地域の様子を理解している。
	思考・判断・表現	身近な地域の地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、問いを見出し、身近な地域の様子について考え表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	身近な地域の様子について、予想したり、主体的に調べようとしていたりしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
(1)学校の東西南北		★他教科との関連：理科		
<p>・高いところから、学校のまわりの様子をかんさつしてみましよう。</p> <p style="text-align: right;">p. 8~9</p>	1	<p>①高いところから学校のまわりの様子を観察して、気づいたことを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南には公園や地下鉄の駅がある。 ・学校の北側には公園がある。 ・駅のそばに郵便局がある。 <p>②絵地図にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵地図に四方位があると説明しやすい。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>学校の東西南北には、さまざまな場所がある。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆四方位を使って学校のまわりの様子を説明させる。 ◆大きな白地図に、教師が事前に撮影した特徴のある場所の写真を貼っていく。 	<p>[思判表]</p> <p>発言内容やノートの記述内容から、「地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所、古くから残る建造物などに着目し、学校のまわりの様子について考えたことを表現しているか」を評価する。</p>

(2) くわしい地図を見てみると		★他教科との関連：算数	
<p>・先生の地図を見て、気づいたことを話し合いました。</p> <p style="text-align: right;">p. 10～11</p>	<p>1</p>	<p>①地図を見て気づいたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決まった地図記号を使うとだれでもわかる。 ・広い道路は地図でも太く書いてある。場所によって道路の幅が違う。 ・寺の地図記号が集まっている場所がある。 ・地図から土地の様子がわかる。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">地図記号が書かれた地図はだれが見てもわかりやすく、土地の様子を表している。広い道の下には地下鉄が通っており、ほかにも建物が集まっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆前時の絵地図に地図記号を貼っていく。 ◆家の多いところ、店の多いところなどは、囲みをつけたり斜線を引いたりしてわかるようにする。 ◆区の様子の学習の前に、実際に行かなくても地図を見るとさまざまなことがわかることの面白さを実感させる。 <p>[知技] ノートの記述内容や発言内容などから、「必要な情報を読み取り、学校のまわりの様子について理解しているか」を評価する。</p>
(3) 学校のまわりのたて物			
<p>・学校のまわりのたて物について調べてみましょう。</p> <p style="text-align: right;">p. 12～13</p> <p>※代わりに、実際に特徴的な建物や土地利用の様子を見学に行く計画も考えられる(その場合、p. 6～7 のオリエンテーションの時間などを見学の時間に充当し、見学を2時間とすることが考えられる)。</p>	<p>1</p>	<p>①学校のまわりにはどのような建物があるか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館、消防署、鋼板がある。 ・みんなが使う建物や場所を公共施設という。 ・神社や寺、店、銭湯など古くからある建物がある。 <p>②学校のまわりの航空写真を見て話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園の北側には海がある。 ・高い建物が集まる場所と低い家が集まる場所がある。 ・高速道路はどこまで続いているのだろう。 ・江戸川区全体はどのような様子なのだろう。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">学校のまわりには公共施設や古くからある建物があり、いろいろな様子の場所がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校のまわりの建物に注目して様子の違いをとらえさせる。 ◆航空写真を用いて学校のまわりよりも広範囲の様子に興味を持たせ、区の様子がどうなっているのか調べてみたいという意欲につなげる。 <p>[知技] 発言内容やノートの記述内容から、「学校のまわりの建物の様子について理解しているか」を評価する。</p> <p>[態度] 発言内容やノートの記述内容から、「学習したことをもとに、区全体の様子についても考えようとしているか」を評価する。</p>

小単元名	1. 区の様子		教科書のページ	p. 14～33
配当時数	12 時間	活動時期	4～6 月	学習指導要領の内容 (1)ア-(7)(イ), イ-(7)

小単元の目標		区の様子について、都道府県内における区の位置、区の地形や土地利用、交通の広がり、区役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、観察・調査したり地図などの資料で調べ、まとめることで区の様子をとらえ、場所による違いを考え、表現することを通して、自分たちの区の様子を大まかに理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	①都道府県内における区の位置、区の地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などについて観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、区の様子を理解している。 ②調べたことを白地図や文などにまとめ、区の様子を理解している。
	思考・判断・表現	①都道府県内における区の位置、区の地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、問いを見出し、区の様子について考え表現している。 ②場所ごとの様子を比較したり土地利用の様子や交通などを関連付けたりして考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①区の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
(1)空から見て				
<p>・つかむ 空から区の様子をとった写真を見て、気づいたことを話し合ひましょう。</p> <p>p. 14～15</p>	1	<p>①航空写真を見て、気づいたことや、区の施設や様子でわかっていることを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 海の方にまちが広がっている。 高速道路や鉄道がある。 山(緑)や島がある。 まちには高いビルや大きな駅がある。 海のそばにも建物がたくさんある。 <p>学校のまわりにもさまざまな場所があったが、市にも同じようにさまざまな場所がある。</p>	<p>◆区の様子を概観し、特徴ある地域の様子に気づかせる。</p> <p>◆自分たちの区や学校がどのあたりにあるのか探し出すようにする。</p>	<p>【知技①】</p> <p>発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を読み取り、区には特徴ある地域があることを理解しているか」を評価する。</p>
(2)区の地図を見て				
<p>・つかむ わたしたちの区はどこにあり、また、どのようなところがあるか話し合ひ、学習問題をつくりましょう。</p> <p>p. 16～17</p>	1	<p>①区の地図や写真を見て、知っている場所を紹介し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 天神駅の近くに江戸川区役所がある。 博多港のまわり 	<p>◆紹介する場所を、学校から見た八方位を使って方角を考えさせる。</p>	<p>【思判表①】</p> <p>発言内容やノートの記述内容から、「区の位置、区の地形や土地利用、交通の広がり、主</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・油山の牧場 ・江戸川城のあと ②教科書の地図や地図帳で、区の形や位置を確認する。 ・江戸川区はおもしろい形をしている。 ・江戸川区は、江戸川県の中で西側にある。 ・たくさんの区や町に接している。 ・区には7つの区がある。 ・区にはいろいろな場所があり、そこで人々が生活している。 	<p>な公共施設の場所と働き，古くから残る建造物の分布などに着目して，問いを見出しているか」を評価する。</p>
<p>学習問題 わたしたちの市は，どのような様子なのでしょうか。</p>		
<p>(3) 学習の進め方</p>		<p>★他教科との関連：国語</p>

<p>・学習問題をつくり，学習の進め方をかくにんしよう。 p. 18～19</p>	<p>1</p>	<p>①小単元の「つかむ→調べる→まとめる→いかす」という学習の流れを確認する。</p> <p>②学習問題について，予想を立て，実際に見学したり，インターネットやガイドブック，写真や地図，他校への手紙などで調査したりして，区の様子を調べる計画を立てる。</p> <p>[調べること]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地の高さや広がり ・土地の使われ方 ・交通の様子 ・公共施設の場所と働き ・古くから残る建物 	<p>◆問題解決的な学習の進め方について学ばせる。</p> <p>◆今後の社会科学習全般に関わる基礎的な学びなので，丁寧に指導する。先々の学習においても立ち返り，活用するとよいことも指導する。</p> <p>◆内容だけでなく，調べ方やまとめ方も指導する。</p>	<p>【態度①】 発言やノートの記述，学習計画表の内容などから，「区の様子について予想や学習計画を立て，解決の見通しをもっているか」を評価する。</p>
---	----------	--	---	---

(4) 区の土地の高さや広がり

<p>・調べる 江戸川区の土地の高さや広がり、どのようになっているのでしょうか。</p> <p>p. 20～21</p>	<p>1</p>	<p>①調べてわかったことを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山のほうとまちのほうでは様子が全然違う。 ・低い土地にまちが広がっている。 ・海岸や島がある。 ・那珂川という川が流れている。 <p>②地図で地図記号を確認しながら、調べてわかったことや、考えたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区の南の山のほうは土地が高い。 ・低いところには家や店が多い。 ・島の南側に家や店があるようだ。 <p>江戸川市の地形は、海に面した北側が土地が低く、南に向かうほどだんだん土地が高くなっている。西側は開けた土地がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆区内には山、街、海岸、島といった景観が異なる場所があることに気づかせる。 ◆港の海岸線がまっすぐな理由を考えさせる。 ◆地図記号を読み解くことで、行ったことがない場所でも土地の高低や人が住んでいる地域がわかることに気づかせる。 	<p>[知技①] ノートの記述内容や発言内容から、「必要な情報を集め、読み取り、区の地形について理解しているか」を評価する。</p>
<p>(5) 区の土地の使われ方</p>				

<p>・調べる 江戸川区の土地は、どのように使われているのでしょうか。 p. 22～23</p>	<p>1</p>	<p>①調べてわかったことを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高い建物はまとまって建っている。 ・埋め立て地には工場や大きな建物が多い。 ・山には牧場がつくられている。 <p>②地図で地図記号を確認しながら、調べてわかったことや、考えたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港の海岸線は船をとめやすいようにまっすぐになっている。 ・店が多く高い建物が目立つところは大きな駅の近くにまとまっている。 ・家や店の多いところは区の中央と西に広がり、区の西側には田や畑が多い。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>江戸川市は、大きな船がとまる港の近くに工場が集まり、市の中心部には商店や住宅が集まっている。開けた土地は田や畑に利用されている。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆川の近くの土地は田畑に利用され、港付近は工場や倉庫があることに気づかせ、人々は土地の特徴を生かして土地を利用していることを考えさせる。 ◆工場の地図記号を調べて記入する作業を通して、地図記号を読み解くことで土地の様子がわかることに気づかせる。 	<p>[知技①] ノートの記述内容や発言内容から、「必要な情報を集め、読み取り、区の土地利用について理解しているか」を評価する。</p>
<p>(6) 区交通の様子</p>				

<p>・調べる 江戸川区の交通は、どのように広がっているのでしょうか。 p. 24～25</p>	<p>1</p>	<p>①調べてわかったことを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 博多駅から新幹線に乗ることができて、駅前には大きなバスターミナルがある。 車で高速道路を走っていると、港に大きな船がとまっているのが見える。 江戸川区には空港もあって飛行機に乗れる。 <p>②地図で地図記号を確認しながら、調べてわかったことをもとに、考えたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 海岸線に沿って鉄道や高速道路が通っている。 博多港や江戸川空港から外国に行くことができる。 高速道路や地下鉄も通り、仕事などで区の中に行くにも便利なようになっている。 <p>江戸川市には、新幹線、鉄道、地下鉄、高速道路などの交通が広がり、人々の移動や輸送に便利である。</p>	<p>◆高速道路が港を通っていることから物資の運搬に役立っていること、人がたくさん集まるところに交通機関が集まっていることに気づかせる。</p> <p>◆江戸川区には多様な交通機関があり、人々の便利な生活を支えていることに気づかせる。</p>	<p>[知技①] ノートの記述内容や発言内容から、「必要な情報を集め、読み取り、区の交通の広がりについて理解しているか」を評価する。</p>
<p>(7) 区の公共しせつ</p>				

<p>・調べる 江戸川区の公共施設はどこにあり、どのようなはたらきをしているのでしょうか。</p> <p>p. 26～27</p>	<p>1</p>	<p>①調べてわかったことを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学館，博物館なども江戸川区の公共施設であることがわかった。 ・区役所では区民のくらしに関わる仕事をしている。 ・災害時の避難場所も教えてくれる。 <p>②地図で地図記号を確認しながら，調べてわかったことをもとに，考えたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図記号を見ると，多くの人が行きやすいように，鉄道に沿って公共施設があることがわかる。 ・警察署，消防署，図書館がたくさんある。 ・区にはたくさんの公共施設がある。 <p>江戸川市の中心部には市役所などの公共施設があり，市民のくらし，教育，健康福祉，観光や産業を支えている。災害時の避難場所も指定している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆鉄道沿いにあることに注目させて区民が利用しやすくなっていることに気づかせる。 ◆公共施設の数や位置は種類によってどのような違いがあるのか考えさせる。 	<p>[知技①] ノートの記述内容や発言内容から，「必要な情報を集め，読み取り，主な公共施設の場所と働きについて理解しているか」を評価する。</p>
<p>(8) 区に古くからのこるたて物</p>				
<p>・調べる 江戸川区にのこる古いたて物には，どのようなものがあるのでしょうか。</p> <p>p. 28～29</p>	<p>1</p>	<p>①調べてわかったことを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・榎田神社は博多祇園山笠のお祭りの出発地となっている。外国からの観光客も来る。 ・赤煉瓦文化館は外国の影響を受けている。 ・江戸川城は400年以上前に築かれた。 ・古くから残る建物や地区にはいわれがある。 <p>②地図で地図記号を確認しながら，調べてわかったことをもとに，考えたことを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆古くから残る建物がある場所は現在でも人が集まる場所であり，大事にされてきたことに気づかせる。 ◆江戸川城潮見やぐらや，湾岸の直線的な埋立地の部分を取り除いて考えると， 	<p>[知技①] ノートの記述内容や発言内容から「必要な情報を集め，読み取り，古くから残る建造物の分布について理解しているか」を評価する。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 神社や寺は博多区に多くあり，博多町家ふるさと館には昔のくらしの展示がある。 ・ 地図記号はお城や神社の鳥居の形に似ているからわかりやすい。 	江戸川は歴史的に海に沿って発展してきたことに気づかせる。	
(9) (10) 区のとく色やよさをまとめよう				
<ul style="list-style-type: none"> ・ まとめる 調べたことをもとに，区の様子をまとめてみましょう。 <p style="text-align: right;">p. 30～31</p>	2	<p>① これまでに調べたことをもとに江戸川区の特色やよさについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山，海，川があつて自然が豊か。 ・ 交通が広がり，にぎやかで，外国にも行ける。 ・ 公共施設がたくさんある。 <p>② 話し合ったことを紹介地図にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅が多いところ，緑が多いところ，田畑が多いところで色分けする。 ・ 江戸川区にはたくさんの自慢できるよさがある。 	<p>◆ 特色については土地の様子，使われ方，交通，公共施設，古くから残る建造物などの視点を生かしてまとめさせる。</p> <p>◆ 作成した紹介地図を使って説明するなどまとめを深めさせたい。</p>	<p>【思判表②】 ノートの記述内容や発言内容から，「場所ごとの様子を比較したり土地利用の様子や交通などを関連付けたりして考え，表現しているか」を評価する。</p> <p>【知技②】 ノートの記述内容や白地図の内容などから，「学習したことをもとに，紹介地図や文などにまとめ，区のままざまな場所の特色やよさを理解しているか」を評価する。</p>
(11) (12) 地図を使って考えをつたえよう				
<ul style="list-style-type: none"> ・ いかす 学習したことをもとに，区の場所によるちがいをいかして，「こんなときどうする」を考えてみましょう。 <p style="text-align: right;">p. 32～33</p>	2	<p>① 学習してきたことを生かして，「こんなときどうする」カードをもとに地図を使って考えを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人のお客さんを案内する。 	<p>◆ 「こんなときどうする」という設定については，話し合っ設定してもよい。学習したことを生かして理</p>	<p>【思判表②】 カードの記述内容や発言内容などから，「学習したことをもとに，場面に応じて区の様子を紹介のしかたを</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・パン屋さんを開く。 ・友達に江戸川区を案内する。 ・災害時の避難場所を探す。 <p>②発表を聞いて考えのよいところを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことをもとにわかりやすく伝えることができた。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>わたしたちは必要に応じて市内の特色を生かして、よりよい生活を送っている。</p> </div>	<p>由を述べるようにさせる。</p>	<p>考え表現しているか」を評価する。</p>
--	--	--	---------------------	-------------------------

単元名	2. はたらく人とわたしたちの暮らし (オリエンテーション)		教科書の ページ	p. 36~37
配当時数	1 時間	活動時期	6 月	学習指導要 領の内容
				(2) アイ

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
(1) まちの人たちの仕事				
<p>・わたしたちのくらすまちには、どのような仕事をしている人たちがいるでしょうか。</p> <p>p. 36~37</p>	1	<p>①まちの働く人について、どのような仕事をしている人がいるか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区の西側に多い田や畑では、米や野菜をつくっている人たちがいた。 ・区の北側には工場が多かった。働いている人がたくさんいると思う。 ・通学路にあるスーパーマーケットでは、いつもたくさんの方が働いている。 	<p>◆前単元の学習や、日常生活で出会う人々の仕事に注目させる。</p>	<p>[思判表]</p> <p>発言内容やノートの記事内容から、「区で働く人たちの様子に着目して、問いを見出しているか」を評価する。</p>
		<p>めあて わたしたちのまちではたらく人の仕事の様子や、仕事とわたしたちの生活とのつながりを調べてみましょう。</p>		

小単元名	1. 農家の仕事		教科書のページ	p. 38～51
配当時数	11 時間	活動時期	6～9 月	学習指導要領の内容 (2)ア-(7)(ウ), イ-(7)

小単元の目標		地域に見られる農家の仕事について、仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめることで生産に携わっている人々の仕事の様子をとらえ、地域の人々の生活との関連を考え、表現することを通して、農家の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	①農家の仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、生産の仕事に携わっている人々の仕事の様子を理解している。 ②調べたことを白地図や文などにまとめ、生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解している。
	思考・判断・表現	①農家の仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、問いを見出し、生産に携わっている人々の仕事の様子について考え表現している。 ②生産の仕事の様子と地域の人々の生活との関連を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①地域に見られる生産の仕事について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
(1)区でつくられるやさいやくだもの		★他教科との関連：算数		
<p>・つかむ わたしたちの区では、どのような作物がつけられているのでしょうか。 p. 38～39</p>	1	<p>①地域でつくられている作物を探し、つくられている場所や生産額を調べ、気づいたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 区では、いちごやトマト、大根が多くつくられていることが棒グラフからわかる。 地図からいろいろな野菜や果物がつけられていることがわかった。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">わたしたちの住む江戸川市では、さまざまな野菜や果物がつけられている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆区の主な野菜や果物の生産額の棒グラフに着目させて、地域の野菜や果物の生産額を調べさせる。 ◆区内でつくられる農産物について、どこで、どのようなものがつくられているのか産地の分布に着目させる。 ◆調べた内容から疑問をもたせ、次時へとつなげさせる。 	<p>[知技①] 発言内容やノートの記事内容から、「区でつくられる主な野菜や果物の生産地の分布や生産量の概要を理解しているか」を評価する。</p>

(2) (3) 特産品のあまおう				
<p>・つかむ いちごづくりについて、気づいたことやぎもんに思ったことを話し合い、学習問題をつくりましょう。</p> <p style="text-align: right;">p. 40~41</p>	2	<p>①いちごづくりについて知っていることを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あまおうはおいしい。 ・元岡地区でつくられている。 ・畑やビニールハウスでつくられている。 <p>②あまおうについて疑問に思ったことを話し合い、学習問題をつくり、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家の人はどんな仕事をしているのだろう。 ・なぜ夜にビニールハウスに明かりがついているのか。 ・おいしくするための工夫がありそうだ。 	<p>◆あまおうについて知っていることを自由に話させ、わからないことや不思議に思うことを話し合わせる。</p>	<p>【思判表①】 発言内容やノートの記述内容から、「あまおうづくりについて気づいたことや疑問に思ったことをもとに、農家の仕事について、問いを見出しているか」を評価する。</p> <p>【態度①】 発言内容やノートの記述内容から、「区であまおうをつくる農家の仕事について、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。</p>
<p>学習問題 農家では、あまおうをおいしく、たくさんつくるために、どのような仕事をしているのでしょうか。</p>				
(4) あまおうづくりの1年間				
<p>・調べる 農家では、1年間どのように仕事をしているのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">p. 42~43</p>	1	<p>①「まなび方コーナー」から見学のしかたを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察のしかた ・質問のしかた ・記録のしかた <p>②あまおうを育てる1年間の仕事について農家の方に話を聞き、わかったことや考えたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収穫のときには、もう次の年の苗を育てている。 ・寒くなる11月ごろから、ビニールハウスで電照をしたり、暖房をつけたりしている。 ・季節の変化に合わせて作業している。 	<p>◆見学のしかたを学ぶために「まなび方コーナー」を活用する。</p> <p>◆作物の栽培の様子を年間のカレンダーにして、視覚的にとらえさせるとよい。</p>	<p>【知技①】 発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、農家の仕事の工程や工夫について理解しているか」を評価する。</p>
<p>農家では、季節の変化に合わせた工夫をしながら、1年間計画的にあまおうをつくっている。</p>				

(5) (6) あまおうの畑で見つけたよ			
<p>・調べる あまおうはどのようにつくられているのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">p. 44～45</p>	2	<p>①疑問に思ったことを整理して農家の方に質問し、わかったことをメモする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土づくり ・ビニールハウス ・苗づくり ・大きな冷蔵庫 ・みつばち <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">農家では、自然条件を生かしてあまおうをつくるほか、棚の上で栽培したり、畑とビニールハウスを使うなどさまざまな工夫をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆質問する内容を事前にまとめさせておく。 ◆日当たりや、水はけのよさや土地の広がりなど地理的な諸条件と関連付ける。 <p style="text-align: right;">【知技①】 発言内容や見学メモの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、農家では自然条件を生かしたり栽培設備を工夫したりして仕事をしている様子を理解しているか」を評価する。</p>
(7) (8) くふうがまったあまおうづくり		★他教科との関連：理科	
<p>・調べる あまおうづくりには、どのようなくふうや努力があるのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">p. 46～47</p>	2	<p>①農家の浜地さんの畑を見学したり話を聞いたりして、疑問に思ったこと、気づいたことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・棚の上で栽培する(高設栽培)。 ・苗を大切に育てる。 ・みつばちなどの生き物の力を借りる。 ・ビニールハウスを使うことで、冬でも収穫できる。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">農家では、おいしいあまおうをつくるために、苗づくりや栽培設備にさまざまな工夫をしている。また、ビニールハウス内で電照や暖房をすることで、冬でもたくさんのあまおうを収穫できるよう工夫している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆あまおうづくりの工夫や努力についてより詳しく知りたいことをまとめさせておく。 ◆棚の上やビニールハウスでの栽培や苗づくりの工夫、みつばちの活用などは、いちご以外の農産物にも適用しているのか、ほかの農産物の生産方法と比較する。 <p style="text-align: right;">【知技①】 発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、農家がおいしいあまおうをたくさんつくるために、さまざまな工夫をして仕事をしている様子を理解しているか」を評価する。</p>
(9) (10) いよいよしゅうかく			
<p>・調べる わたしたちの生活とあまおうにはどのようなかわりがあるのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">p. 48～49</p>	2	<p>①あまおうの収穫と出荷について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つずつ手作業で収穫する。 ・パック詰めも手作業で行う。 ・収穫後は区の中央区場に送り、その後、スーパーマーケットなどに送られる。 ・地域でとれた作物が 	<ul style="list-style-type: none"> ◆出荷先を地図帳などで確認する。 ◆他地域、外国ともつながっていることを明らかにする。 ◆収穫したあまおうの出荷先の位置に着目する。 <p style="text-align: right;">【知技①】 ノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、あまおうの出荷作業の様子や出荷を通じた他地域や外国との関わりについて理解しているか」を評価する。</p>

		<p>外国に送られることもある。</p> <p>あまおうの収穫は、朝早くから手作業で行われている。収穫されたあまおうは、市内だけでなく、近隣の市や他県や外国にも送られている。</p>		
(11)せんでんシールを考える				
<p>・まとめる これまでの学習をふり返り、あまおうをせんでんするシールの案を考えましょう。</p> <p style="text-align: right;">p. 50~51</p>	1	<p>① 調べた内容をもとに、あまおうを宣伝するシールの案を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年間、たくさんの手間をかけてつくっていた。 ・ おいしくつくるための工夫もたくさんあった。 <p>② 調べてきたことをもとに、学習問題についてわかったことや考えたことをノートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あまおうづくりの工夫 ・ 季節に合わせた育て方 ・ 収穫、送り先 ・ わかったことをみんなに伝えたいな。 <p>あまおう農家では、ビニールハウスなどの設備を使い、季節に合わせた育て方をするなど、おいしいあまおうをたくさんつくるためにさまざまな工夫をしている。また、つくられたあまおうは市の中央卸売市場から市内外の店に運ばれて販売され、地域の人々の生活と密接な関わりがある。</p>	<p>◆ 調べた内容をもとに宣伝シールを考えさせる。</p> <p>◆ 学習問題についてわかったことや考えたことをノートに書かせる。</p>	<p>【思判表②】 宣伝シールやノートの記述内容から、「農家の仕事の様子と区の人々の生活との関連について考え表現しているか」を評価する。</p> <p>【知技②】 宣伝シールの記述内容や発言内容から、「調べたことをまとめて農家の仕事の手順や工夫、区の人々の生活とのかかわりを理解しているか」を評価する。</p>

小単元名	1. 工場の仕事		教科書のページ	p. 52～65
配当時数	11 時間	活動時期	6～9 月	学習指導要領の内容 (2)ア-(7)(ウ), イ-(7)

小単元の目標		地域に見られる工場の仕事について、仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめることで生産に携わっている人々の仕事の様子をとらえ、地域の人々の生活との関連を考え、表現することを通して、工場の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。
小単元の 観点別 評価規準	知識・技能	①工場の仕事の種類や工場の分布、仕事の工程などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、生産の仕事に携わっている人々の仕事の様子を理解している。 ②調べたことを白地図や文などにまとめ、生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解している。
	思考・判断・表現	①工場の仕事の種類や工場の分布、仕事の工程などに着目して、問いを見出し、生産に携わっている人々の仕事の様子について考え表現している。 ②工場の仕事の様子と地域の人々の生活との関連を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①地域に見られる生産の仕事について、予想や学習計画を立てたり、ふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
(1)江戸川区のおみやげ数				★他教科との関連：算

<p>・つかむ わたしたちの区の工場では、どのようなものをつくっているのでしょうか。</p> <p>p. 52～53</p>	<p>1</p>	<p>①地域の工場で作られているものを探し、工場の分布やグラフから、気づいたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場が集まっている地域がある。 ・食べ物や飲み物をつくる工場が多い。 <p>わたしたちの住む江戸川市にはさまざまなものをつくる工場があり、博多港の近くに多く分布している。また、特に、食べ物や飲み物をつくる工場が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆自分たちの住む地域で作られているものがあることに気づかせる。 ◆区内の工場について、どこで、どのようなものが作られているのか、工場の分布をとらえる。 	<p>[知技①] 発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を読み取り、区にある工場の種類や数、工場の分布など、区の工場の概要を理解しているか」を評価する。</p>
<p>(2) (3) 見学の計画を立てる</p>				
<p>・つかむ おかし工場について気づいたことやぎもんじ思ったことを話し合い、学習問題をつくりましょう。</p> <p>p. 54～55</p>	<p>2</p>	<p>①お菓子や工場について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お土産に買っていくことが多い。 ・江戸川区やその近くにしか店がないようだ。 <p>②お菓子の生産について疑問に思ったことを話し合い、学習問題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場ではどんな仕事をしているのだろう。 ・おいしくするための工夫がありそうだ。 <p>学習問題 工場では、おかしをおいしく、たくさんつくるために、どのような仕事をしているのでしょうか。</p> <p>③調べたいこと、疑問に思ったことをもとに学習計画を立て、見学カードに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見てくること ・聞いてくること 	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域で生産され、多くの人に知られている名産品に関心をもたせる。 ◆調べたいことや疑問に思ったことを板書でまとめ、観点を明らかにする。 	<p>[思判表①] 発言内容やノートの記述から「お菓子工場について、気づいたことや疑問に思ったことをもとに、お菓子をつくる工場の仕事について、問いを見出しているか」を評価する。</p> <p>[態度①] 発言内容やノートの記述内容から、「区でお菓子をつくる工場の仕事について、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。</p>
<p>(4) おかしができるまで ★他教科との関連：算数</p>				

<p>・調べる おかしはどのようなにつくられているのでしょうか。</p> <p>p. 56~57</p>	<p>1</p>	<p>①お菓子工場を見学し、疑問に思ったこと、気づいたことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生地づくり、あんづくり ・形をつくる ・焼き上げる ・確認 ・袋詰め、箱詰め <p>工場では、機械と人の手を有効に使って、流れ作業でお菓子をつくられている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆事前に見学のしかたを指導し、見学する内容を確認させる。 ◆生産工程に着目して、生産に携わる人々の工夫と関連付ける。 	<p>【知技①】</p> <p>発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、工場の流れ作業の様子を理解しているか」を評価する。</p>
<p>(5) (6) おかしの原料</p>				
<p>・調べる おかしの原料は、どこから運ばれてきているのでしょうか。</p> <p>p. 58~59</p>	<p>2</p>	<p>①お菓子の原料について、工場の方にインタビューし、ノートや見学メモにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原料は、手に入るもので一番よいものを、国内だけでなく外国からも取り寄せている。 <p>お菓子の原料の小麦粉や卵などは、他県や外国からも仕入れている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆原料の仕入れ先を地図で確認し、地理的な広がり（空間）でとらえさせる。 ◆原料の小麦やいんげん豆が外国から運ばれていることから、外国とのつながりに気づかせる。 	<p>【知技①】</p> <p>見学メモの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、原料を通した工場の他地域や外国との関わりについて理解しているか」を評価する。</p>
<p>(7) (8) はたらく人のくふう</p>				
<p>・調べる おかし工場では、どのようなくふうをしているのでしょうか。</p> <p>p. 60~61</p>	<p>2</p>	<p>①疑問に思ったことを整理して工場の方に質問し、わかったことをメモする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温度や水分管理の工夫、焼き具合の確認。 ・衛生面での工夫。 <p>安全でおいしいお菓子をたくさんつくるために、工場で働く人はいろいろな工夫をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆質問する内容を事前にまとめさせておく。 ◆仕事の内容を機械、手作業に分類させる。 ◆工場で働く人の工夫に着目して、仕事の内容をとらえる。 	<p>【知技①】</p> <p>インタビューの内容や見学メモの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、工場働く人の仕事の工夫について理解しているか」を評価する。</p>
<p>(9) (10) 地いきとのかかわり</p>				

<p>・調べる 工場は、地いきとどのようにかかわっているのでしょうか。</p> <p>p. 62～63</p>	<p>2</p>	<p>①お菓子の出荷や、働く人がどこから来ているのかについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話やインターネットで注文を受けて、全国へ発送している。 工場で働く人は、区内だけでなくほかの区や町から、地下鉄やバス、車などで通勤している。 <p>工場で作られているお菓子は、市内を中心とした販売店で売られている。工場で働く人は、近くのほかの市や町からも来ていて、まわりの地域と関わりあって、江戸川市のよさを伝えるお菓子ができている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆出荷先を地図で確認する。 ◆働く人が使用している交通機関も確認し、他地域とのつながりを確認する。 ◆製品の出荷先や工場で働く人がどこから来るのかなど位置や広がりに着目する。 	<p>【知技①】</p> <p>ノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、工場で作られたお菓子は区内を中心とした販売店に送られていることや工場で働く人は、近くの区町村からも来ていることを理解しているか」を評価する。</p>
<p>(11) せんでんシールを考える</p>				
<p>・まとめる これまでの学習をふり返り、おかしをせんでんするシールの案を考えましょう。</p> <p>p. 64～65</p>	<p>1</p>	<p>①調べた内容をもとに、お菓子を宣伝するシールの案を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 衛生面に気をつけて、人がする作業と機械がする作業を使い分けていた。 おいしくつくるための工夫もたくさんあった。 <p>②調べたことをもとに、学習問題についてわかったことや考えたことをノートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 衛生面 よい原料の確保 おいしいつくり方 出荷、送り先 <p>お菓子工場で作る人々は、おいしいお菓子をたくさんつくるために、衛生面に気をつけ、さまざまな工夫をして仕事をしている。また、お菓子は市内を中心に販売され、江戸川市のお土産として知られているなど、地域の人々の生活と密接な関わりがある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆調べた内容を板書に整理して、ノートや宣伝シールにまとめさせる。 ◆学習問題についてまとめをするとともに、自分の考えを書かせる。 	<p>【思判表②】</p> <p>宣伝シールの記述内容から、「工場の仕事の様子と区の人々の生活との関連について考え表現しているか」を評価する。</p> <p>【知技②】</p> <p>宣伝シールの記述内容や発言内容から、「調べたことをまとめて、工場の仕事の手順や工夫、区の人々の生活との関わりを理解しているか」を評価する。</p>

小単元名	2. 店ではたらく人		教科書のページ	p. 66~87
配当時数	15 時間	活動時期	9~11 月	学習指導要領の内容 (2)ア-(イ) (ウ), イ-(イ)

小単元の目標		地域に見られる販売の仕事について、消費者の願い、販売のしかた、他地域や外国との関わりなどに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめることで販売に携わっている人々の仕事の様子をとらえ、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現することを通して、販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	①消費者の願い、販売のしかた、他地域や外国との関わりなどについて、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、販売に携わっている人々の仕事の様子を理解している。 ②調べたことを白地図や文などにまとめ、販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ、売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解している。
	思考・判断・表現	①消費者の願い、販売のしかた、他地域や外国との関わりなどに着目して、問いを見出し、販売に携わっている人々の仕事の様子について考え表現している。 ②地域に見られる販売の仕事と地域の人々の生活との関連を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①地域に見られる販売の仕事について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
(1)よく行く店 ・つかむ わたしたちは、どのような店で買い物をしているのでしょうか。 p. 66~67	1	①普段、家の人とよく行く店を紹介し合う。 ・スーパーマーケットによく行くよ。品物がたくさんある。 ・商店街の八百屋さんに行くよ。時々おまけしてくれる。 ②よく行く店を白地図にまとめる。 ・遠いところにも近いところにも店は多くある。 地域には、さまざまな種類のお店がある。 ③よく行く店を家の人に聞いてくるという見通しをもつ。	◆よく行く店や利用する理由を確かめるために、家族にインタビューすることを伝える。	[知技①] 発言内容やノートの記述内容から、「地域には、さまざまな種類のお店があることを理解しているか」を評価する。

(2) (3) 買い物調べ				
<p>・つかむ 家の人、なぜその店に行くのでしょうか。 p. 68~69</p>	2	<p>①家の人に質問するカードをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よく行く店はどこか。 ・なぜその店に行くのか。 <p>②買い物調べの結果をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケットに買い物に行く家が多い。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>利用する理由は店によって異なるが、家の人たちがよく利用するのはスーパーマーケットである。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆買い物調べの計画を立てる際に、質問することを整理する。 ◆買い物調べの結果を表やグラフにまとめさせる。 	<p>【思判表①】 発言内容やノートの記述内容から、「気づいたことや疑問に思ったことをもとに、スーパーマーケットの仕事について問いを見出しているか」を評価する。</p>
(4) スーパーマーケットのよいところ				
<p>・つかむ スーパーマーケットに買い物に行く人が多いのはなぜなのか話し合っ、学習問題をつくり、学習計画を立てましょう。 p. 70~71</p>	1	<p>①スーパーマーケットに行く人が多い理由を発表し、学習問題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品物を見つけやすくしているのではないか。 ・野菜や果物はとれる場所や季節を考えて売っているのではないか。 ・駐車場を広くしているのではないか。 ・ちらしがあるのでどんなものが安いかわかりやすい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習問題 スーパーマーケットではたらく人は、多くの人々に買い物をしてもらうために、どのようにくふうをしているのでしょうか。</p> </div> <p>②学習問題について予想し、学習計画を立てる。</p> <p>[調べること]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品物を見つけやすくしたり、品物のよさを伝えたりするための工夫 ・働く人の仕事 ・品物の並べ方 ・お客さんが来るための工夫 ・売り上げを上げるための工夫 <p>[調べ方]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学 ・インタビュー ・メモの取り方 <p>[まとめ方]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かべ新聞にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆スーパーマーケットのよいところを発表させるとともに、その意味を問いかけて予想させることを通して、学習問題づくりにつなげる。 ◆「消費」と「販売」との関係を問いながら、予想を立てやすくする。 	<p>【態度①】 発言内容やノートの記述内容から、「スーパーマーケットの仕事について、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。</p>

(5) (6) スーパーマーケットの様子			
<p>・調べる スーパーマーケットの売り場は、どのようになっているのでしょうか。 p. 72~75</p>	2	<p>①スーパーマーケットで見学、もしくは教科書の挿絵を見て気づいたことを話し合う。 [観察の視点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買えるものとその場所 ・買いたいものの見つけやすさ ・値段 ・買い物のしやすさ ・働く人の様子など <p>スーパーマーケットでは、たくさんの商品が販売されている。また、たくさんの人たちが仕事をしている。</p>	<p>◆売り場の資料を観察する際には、「買う人がスーパーマーケットを利用したくなる理由」を探そう、観察の視点を明確にする。</p> <p>[知技①] 見学メモやノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、スーパーマーケットの売り場の様子や働く人の様子について理解しているか」を評価する。</p>
(7) (8) 店で発見			
<p>・調べる スーパーマーケットの売り場には、どのようなひみつがあるのでしょうか。 p. 76~77</p>	2	<p>①売り場を見学して、わかったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看板：どこに何があるかがわかる。品物の値段や特徴が大きく書かれている。 ・コンシェルジュ：お客様係で何でも聞いてくださいと言っていた。 <p>スーパーマーケットの売り場には、買い物をする人がわかりやすいように看板などを使ったり、コンシェルジュがお客様の質問に答えるようにしたりしているなど、さまざまな工夫がある。</p>	<p>◆看板を見てわかることを明らかにしたり、コンシェルジュのよさを調べたりすることを通して、売り場の工夫に結び付けていく。</p> <p>◆自宅近くにあるスーパーマーケットと、店の様子や販売の工夫について比較する。</p> <p>[知技①] 見学メモやノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、スーパーマーケットの売り場には、お客さんのためのさまざまな工夫があることを理解しているか」を評価する。</p>
(9) (10) はたらく人にインタビュー			
<p>・調べる スーパーマーケットではたらく人は、どのような仕事をしているのでしょうか。 p. 78~79</p>	2	<p>①スーパーマーケットで働く人にインタビューしたり、買う人の願いを考えたりして、スーパーマーケットで働く人の仕事について調べる。 [スーパーマーケットで働く人の仕事]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足りないものを注文したり並べたりする。 ・見やすい場所に並べる。 ・食べ方を伝える。 ・売り場の外(バックヤ- 	<p>◆「売り場ではたらく牟田口さんの話」と写真資料とを結び付けたり、p. 79 の写真資料をじっくりと読み取ったりして、働く人々の仕事の内容を具体的にする。</p> <p>◆買う人の願いと店の人の動</p> <p>[知技①] 見学メモやノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、スーパーマーケットで働く人々は、さまざまな販売のしかたの工夫をしていることを理解しているか」を評価する。</p>

		ド)の仕事 ・果物を切る。機械で肉を加工する。惣菜をパックする。など ・お客さんのニーズに合わせて対応している。 スーパーマーケットで働く人々は、商品の注文や陳列をしたり、商品を加工・包装したりするなど、さまざまな取り組みをして、お客さんがたくさん来るよう工夫している。	きを対応させて、人々の願いに応じて店の人は対応していることに気づかせたい。	
--	--	--	---------------------------------------	--

(11) 品物はどこから		★他教科との関連：外国語		
・調べる たくさんの品物は、どこから運ばれてくるのでしょうか。 p. 80～81	1	①スーパーマーケットの品物の産地を調べ、他地域とのつながりを考え、話し合う。 ・野菜や果物などに表示されている産地を見ればわかる。 ・店で売られている商品には、ほかの区や県、外国などの他地域でつくられたものもある。 ・売り場で働く人は、旬のものを仕入れるようにしている。 ・他地域から来た商品が、わたしたちの日々の生活を支えている。 スーパーマーケットに並ぶ多くの品物は、国内だけではなく海外も含めた、他地域との関わりによって成り立っている。	◆看板、シールのほかに、例えば折込ちらしなどを活用して品物の産地を明らかにする。 ◆地図を活用して位置を調べる。また、教科書 p. 80～81の「品物はどこから」をもとにして調べたことをノートにまとめることもできる。 ◆スーパーマーケットに並ぶ品物はどこから来たのかに着目する。	[知技①] ノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、品物を通したスーパーマーケットの他地域や外国との関わりについて理解しているか」を評価する。

(12) たくさんのお客さんが来るひみつ				
・調べる たくさんのお客さんが来るのは、なぜでしょうか。 p. 82～83	1	①お客さんにインタビューして、今まで調べたこと以外のスーパーマーケットのよさを明らかにするとともに、お客さんがスーパーマーケットを利用する理由を考える。 ・つくった人の写真がある：産地がはっきりしているので、安心。 ・旬のもの：おいしく食べられる時期のものを売っている。 ・広い駐車場：遠くから	◆お客さんがどこから来たのか、また、店の気に入っているところなどについて質問させる。 ◆お客さんの願いと店の工夫について話し合いながら結びつきを考えさせる。その際、お客さん	[知技①] 見学メモやノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、お客さんのニーズと販売の工夫には関連があり、それらの工夫は売り上げを高めることにつながっていることを理解しているか」を評価する。

		<p>来るお客さんもゆっくり買い物できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お弁当：種類が多い，夜遅くでも買い物ができる。 <p>スーパーマーケットで働く人々は，お客さんの多様なニーズに応えるためのさまざまなサービスをしており，それらの工夫が店の売り上げを高めることにつながっている。</p>	<p>のニーズと販売の工夫を関連付ける。</p>	
(13) まちの人とともに				
<p>・調べる スーパーマーケットは，品物売ることのほかに，どのような取り組みをしているのでしょうか。 p. 84～85</p>	1	<p>①スーパーマーケットは品物売る以外にどのような取り組みをしているかを調べ，特色を明らかにする。 [環境を守るために]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルコーナー 牛乳パック，食品トレイ <p>[だれもが利用しやすいように]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いすの貸し出し ・お年よりや障がいのある人専用の駐車場 ・コンシェルジュお客さんの買い物の相談をする→地域貢献 <p>スーパーマーケットでは，商品売る以外に，だれもが利用しやすいよう店の設備を整えたり，買い物の手伝いをしたりするなど，地域の人々に役立つ地域貢献に取り組んでいる。</p>	<p>◆写真資料や「ことば」，「コンシェルジュの中里さんの話」などを丁寧に調べ，取り組みの特色を明らかにする。</p>	<p>【知技①】 見学メモやノートの記述内容から，「必要な情報を集め，読み取り，スーパーマーケットでは，商品売る以外にもさまざまな取り組みをしていることを理解しているか」を評価する。</p>
(14) (15) かべ新聞にまとめる				
<p>・まとめる スーパーマーケットではたらく人のくふうについてかべ新聞にまとめましょう。 p. 86～87</p>	2	<p>①調べたことをふり返りながら，学習問題についてまとめる。 [働く人の工夫]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所や値段の表示：見やすくしてほしい ・仕入れ：産地，旬，品質のよさ ・駐車場：車の利用，たくさんのお客さんの買い物 ・品揃え：さまざまな買い物 ・おいしさ：出来立ての 	<p>◆今までの学習を想起し，「働く人の工夫」と「お客さんの願い」との関連を明らかにしながら板書に位置付ける。</p>	<p>【思判表②】 壁新聞の記述内容から，「消費者の願い，販売のしかた，他地域や外国との関わりなどをもとに，販売の仕事の様子や工夫について考え，表現しているか」を評価する。 【知技②】 壁新聞の記述内容</p>

	<p>ものを並べる、焼き立てパン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンシェルジュ：買い物のお手伝いや相談 ・車いすなど：障がいのある人が買い物ができるように ・地域貢献：リサイクルコーナー <p>②お客様の願いと、働く人の工夫の結び付きについて考える。</p> <p>販売の仕事に携わる人々は、お客様のさまざまな願いをふまえ、売りを高める工夫や努力をしながら仕事をしている。</p>	<p>◆壁新聞にまとめる際には、学習問題について調べた内容や考えたことを記事とするように促す。</p>	<p>から、「調べたことをまとめて、販売の仕事に携わる人々は、消費者の願いをふまえ、売りを高める工夫をしていることを理解しているか」を評価する。</p>
--	--	---	--

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
★他教科との関連：国語				
(1)ていあん文を書く				
<p>・いかす これまでの学習をもとに、区ではたらく人の仕事についてていあん文を書きましょう。</p> <p style="text-align: right;">p. 90～91</p>	1	<p>①これまで学習してきたことをふり返り、農業や工場、商店がよりよいものになるよう考えを話し合い、提案文を書く。</p> <p>[あまおう]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食の献立に入れるとよい。 ・あまおうの豆知識を書いたしおりを配る。 <p>[おかし]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おかし祭りを開く。 ・子どもがおかしの包装紙を考える。 <p>[スーパーマーケット]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケットに生産者を呼ぶ。 ・スーパーマーケットで売っている食材の料理のしかたを知らせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>地域に見られる生産の仕事や販売の仕事は、わたしたちの生活と身近なところでつながっている。</p> </div>	<p>◆仕事の内容や工夫、願いなどを生かして、提案文を考えさせる。</p> <p>◆「まなび方コーナー」を活用し、提案文を書く方法を確認する。</p>	<p>[思判表]</p> <p>提案文の記述内容から、「学習したことをもとに、自分たちの生活と区の生産や販売の仕事との関連や区の仕事の発展について考え表現しているか」を評価する。</p>

単元名	3. 暮らしを守る (オリエンテーション)			教科書の ページ	p. 92～93
配当時数	1 時間	活動時期	11 月	学習指導要 領の内容	(3) アイ

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
(1) 暮らしの安全を考えよう				
<p>・わたしたちの安全なくらしを守るはたらきについて考えてみましょう。 p. 92～93</p>	1	<p>①新聞やテレビのニュース、自分の体験などを思い出しながらか話し合い、安全なくらしをつくるためのしくみや人々の働きに関心をもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火事が起きたときには、消防署からたくさんの方が来て火を消している。 ・夜に警察の人たちが検問をしていた。 ・通学路で駐車違反の取り締まりをしているところを見た。 ・まちには、わたしたちの安全を守るために働いてくれる人がいるから安心して生活できている。 	<p>◆教科書の写真などから、災害や事故・事件の現場で働いている人の姿に注目させる。</p>	<p>[態度] 発言内容やノート の記述内容から、 「自分たちの生活を ふり返り、地域の 安全を守る人々の 働きについて考 えようとしている か」を評価する。</p>
		<p>めあて わたしたちの安全なくらしを守るために、まちでは、どこでどのような人たちがはたらいているのでしょうか。</p>		

小単元名	1. 火事からくらしを守る		教科書のページ	p. 94~107
配当時数	7時間	活動時期	11~12月	学習指導要領の内容 (3)ア-(7)(イ), イ-(7)

小単元の目標		火災から地域の人々の安全を守る働きについて、施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめることで関係機関や地域の人々の諸活動をとらえ、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現することを通して、消防署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災の防止に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことをもとに地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考えようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	①施設・設備などの配置、消防署による緊急時への備えや対応などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、関係機関や地域の人々の諸活動を理解している。 ②調べたことを地図や文などにまとめ、関係機関が地域の人々と協力して火災の防止に努めていることを理解している。
	思考・判断・表現	①施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、問いを見出し、関係機関や地域の人々の諸活動について考え表現している。 ②連携・協力している関係機関の働きを比較・分類、または結び付けて、相互の関連や従事する人々の働きを考えたり、学習したことをもとに地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考え、選択・判断したりして、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①地域の安全を守る働きについて、予想や学習計画を立て、学習をふり返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
(1)火事が起きたら				
<p>・つかむ 火事が起きると、どのような人が、どのようなことをするのでしょうか。</p> <p>p. 94~95</p>	1	<p>①火事が起きたときのイラストを見て、気づいたことを話し合う。</p> <p>[人] ・消防士 ・警察官</p> <p>[仕事] ・消防士が、火を消している。 ・警察官が、交通整理をしている。 ・救急車で、けが人を運んでいる。</p> <p>火事が起きると、消防士が現場に到着して消火活動を行い、さまざまな人々が協力して消火や救助の活動をしている。</p>	<p>◆「まなびのポイント」を活用し、どんな人がどんな仕事をしているかを問いかけて観点をもたせるようにする。</p> <p>◆自分たちの学校の近くの消防署はどこにあるかを地図で調べるようにする。</p>	<p>[知技①] 発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を読み取り、火事が起きた際の関係機関の活動の様子について理解しているか」を評価する。</p>

(2)火事をふせぐ				
<p>・つかむ イラストやグラフを見て、気づいたことを話し合い、学習問題をつくりましょう。</p> <p style="text-align: right;">p. 96~97</p>	1	<p>①イラストを見て、気づいたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・119番の電話から5分で、消防自動車が到着している。 ・どうしてこんなに早くかけつけることができるのか。 <p>②二つのグラフを見て、火事の数の変化や原因について話し合い、学習問題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火事の原因はいろいろあるが、火事の数が減っている。 ・どうして火事の数が減ったのか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>学習問題 火事が起きたときや火事をふせぐために、だれが、どのようなはたらきをしているのでしょうか。</p> </div>	<p>◆p.39の「まなび方コーナー」を活用してグラフの読み取りをする。火事の数は、数値の読み取りに留まらず、数の変化をとらえられるようにする。</p>	<p>【思判表①】 発言内容やノートの記述内容から、「教科書のイラストやグラフをもとに緊急の対応などに着目し、問いを見出しているか」を評価する。</p>
		<p>③学習問題について予想し、調べること・調べ方・まとめ方を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防士の仕事について調べよう。 ・消防署に行って、見学したり話を聞いたりする。 ・火事からわたしたちの暮らしを守る人たちの働きについて関係図にまとめる。 		<p>【態度①】 発言内容や学習計画表の内容などから、「火災から地域の安全を守る働きについて、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。</p>

(3) 消防しょへ行こう		★他教科との関連：算数	
<p>・調べる 消防しょの人たちは、どのような取り組みをしているのでしょうか。 p. 98～99</p>	1	<p>① 消防士の話を聞いたり，訓練の様子や道具などを観察したりして，わかったことを整理する。</p> <p>② 消防署で働く人の話を読み，火事からくらしを守る取り組みについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ早く火事の現場にかけつけ，確実に消火できるように訓練している。 ・器具を点検している。 <p>③ 消防署や消防士の写真などから，火事に備えてどのような準備をしているかを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防火服は，1200 度の火に約 17 秒間たえられる。 ・消防自動車は，火事の場所や大きさによって違う。 <p>消防署の人たちは，地域の安全を守るために，火事が起きたときに迅速に対応している。また日頃から火事に対応するための訓練などを行い緊急時に備えている。</p>	<p>◆教科書 p. 43 の「まなび方コーナー」をもとにして，施設見学のかたを確認させる。</p> <p>◆見学がかなわない場合には，教科書の記述や写真資料等を丁寧に読み取るようにする。特に，「何のために調べているのか」を問いながら，調べるねらいを明確にし，学習問題の解決に向かって意識させる。</p> <p>◆消防署の人たちは，火事に備えて，さまざまな準備をしていることを気づかせる。</p> <p>[知技①] 発言内容やノートの記述内容から，「必要な情報を集め，読み取り，火事が起きた際の消防士の動きや日頃の備えについて理解しているか」を評価する。</p>
(4) 通信指令室とさまざまな人々のはたらき			
<p>・調べる 119 番に電話をかけると，どこにつながり，どこへれんらくが行くのでしょうか。 p. 100～101</p>	1	<p>① 火事が起きたときの連絡の流れについて，イラストで調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防署：消防自動車や救急車を出動させる。 ・ガス会社，電力会社，水道局：協力してもらう。 <p>② 通信指令室の様子について，働く人の話から調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関への連絡をしている。 ・大きな火事的时候はほかの区や町にも応援を頼んでいる。 	<p>◆火事の現場で，どのような人たちが協力し合っているかを考えさせ，相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることをとらえられるようにする。</p> <p>◆通信指令室と関連機関の関わりについて調べる際，「どこへ」「何のために」連絡をするのかを問い，具体的な関連について</p> <p>[知技①] 発言内容やノートの記述内容から，「必要な情報を集め，読み取り，火事が起きた際の関係機関の連携について理解しているか」を評価する。</p>

		<p>火事が起きたとき、さまざまな関係機関が、通信指令室を中心にネットワークを活用し、相互に連携して迅速に対処する体制をとっている。</p>	<p>明らかにさせる。</p>	
--	--	--	-----------------	--

(5) まちの消防しせつをさがそう

<p>・調べる わたしたちのまわりには、どのような消防しせつがあるのでしょうか。 p. 102～103</p>	<p>1</p>	<p>① 地域にある消防施設を調査して地図に表したり、地図を見てわかったことや考えたことをもとに話し合ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まちには、消火栓や防火水槽があった。 ・ 消火栓や避難場所などは、地域に必ずつくるように決められている。 ・ 住宅には、火災報知器を取り付けることも決められている。 <p>まちにはさまざまな消防施設が設置されており、火事などの災害が起きたときのために、避難場所も定められている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域に出て消防施設を調査する際には、教科書の写真資料や「ことば」を事前に確認させる。 ◆ なぜ、さまざまところに消防施設があるかについて話し合い、緊急時に備えて工夫や努力をしていることに気づかせる。 ◆ 地域の人たちによる、火事からくらしを守る自主的な活動に目を向けさせる。 	<p>[知技①] 発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、地域の消防施設の様子を理解しているか」を評価する。</p>
---	----------	---	---	--

(6)地いきの消防団の取り組み				
<p>・調べる 火事が起きたときや火事をふせぐために、地いきではどのような取り組みが行われているのでしょうか。</p> <p>p. 104～105</p>	1	<p>①消防団の訓練を見学したり消防団員に聞き取りをしたりして、消防団の取り組みについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倉庫にある器具を点検している。 ・消火などの訓練をしている。 ・火事、台風、地震などが起きたときに消防署の人たちと協力して、消火や救助の活動を行っている。 ・防火の呼びかけをしている。 ・普段は別の仕事をしている。 ・子ども消防クラブでは、子どもも参加している。 <p>消防団は、地域の人が集まり、消防署と協力しながら火事に備えて訓練したり、防火を呼びかけたりしている。</p>	<p>◆「ことば」をもとにして、消防士との違いを明らかにさせたり、消防団のねらいを明らかにさせたりする。</p> <p>◆見学がかなわない場合、自分たちがくらす地域にも同じような取り組みがないか調べさせ、自分たちのまちは自分たちで守ることをとらえられるようにする。</p>	<p>[知技①] 発言内容やノートの記事内容から、「必要な情報を集め、読み取り、消防団の活動の様子について理解しているか」を評価する。</p>
(7)火事からくらしを守る人々のはたらき				
<p>・まとめる 関係図をつくり、火事からくらしを守る人々のはたらきについてまとめましょう。</p> <p>p. 106～107</p>	1	<p>①これまでに調べた火事からくらしを守る人々の活動を、関係図にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防士は、日頃から訓練をして、火事が起きたときのために備えている。 ・さまざまな人々が協力している。 ・消防団のように、地域の人々の働きも大切である。 <p>②「火事をふせぐためには、どうしたらよいか」について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防団のさまざまな取り組みに参加する。 ・身のまわりでも、火事を防ぐためにさまざまなことに気をつけていくようにする。 	<p>◆これまでの学習をふり返り、人に注目して、火事からくらしを守る働きについて考えさせる。</p> <p>◆地域のさまざまな関係機関は、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、協力して火災の予防に努めていることに気づかせる。</p> <p>◆話し合ったことをもとにして、緊急時への備えについて意見文に書くようにする。</p>	<p>[知技②] ノートや関係図の記事内容から、「調べたことをまとめて、関係機関が地域の人々と協力して火災の防止に努めていることを理解しているか」を評価する。</p> <p>[思判表②] 関係図やノートの記事内容から、「連携・協力している関係機関の働きを比較・分類、または結び付けて、相互の関連や従事する人々の働きを考えたり、学習したことをもとに地域や自分自身</p>

		<p>火事から地域の人々の安全を守るために、消防署などの関連機関は相互に連携して、緊急時に対処する体制をとったり地域の人々と協力したりしながら火事の防止に努めている。</p>	<p>の安全を守るために自分たちができることなどを考えたりして、表現しているか」を評価する。</p>
--	--	---	--

小単元名	2. 事故や事件からくらしを守る		教科書のページ	p. 108~119
配当時数	6 時間	活動時期	1 月	学習指導要領の内容 (3) ア-(7) (イ), イ-(7)

小単元の目標		事故や事件から地域の安全を守る働きについて、施設・設備などの配置、警察署による緊急時への備えや対応などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめることで関係機関や地域の人々の諸活動をとらえ、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現することを通して、警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して事故の防止に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことをもとに地域や自分自身の安全を守るために自分たちができることなどを考えようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	①施設・設備などの配置、警察署による緊急時への備えや対応などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、関係機関や地域の人々の諸活動を理解している。 ②調べたことを地図や文などにまとめ、関係機関が地域の人々と協力して事故などの防止に努めていることを理解している。
	思考・判断・表現	①施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、問いを見出し、関係機関や地域の人々の諸活動について考え表現している。 ②連携・協力している関係機関の働きを比較・分類、または結び付けて、相互の関連や従事する人々の働きを考えたり、学習したことをもとに地域や自分自身の安全を守るために自分たちができることなどを考え、選択・判断したりして、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①地域の安全を守る働きについて、予想や学習計画を立て、学習をふり返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことをもとに地域や自分自身の安全を守るために自分たちができることなどを考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
(1) 身近な地いきのあぶない場所				
<p>・つかむ 身近な地いきのあぶない場所について話し合い、学習問題をつくりましょう。</p> <p>p. 108~109</p>	1	<p>①教科書のイラストを見ながら、身近な地域でどのような場所が危ないかを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路の踏切。踏切が降りるときに侵入して危ない。 ・交番がある。 <p>②グラフを見て、事故と事件の数が変化していることを確かめ、どうしてそのように変化しているかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故と事件は、減ってきている。 ・事故と事件が減っているのは、いろいろ 	<p>◆教科書のイラストから、危ない場所を読み取らせ、その原因についても考えさせる。</p> <p>◆自分たちの学校の近くの交番はどこにあるかを地図で調べるようにする。</p> <p>◆身近な交番の警察官に注目させ、安全を守るための活</p>	<p>【思判表①】</p> <p>発言内容やノートの記述内容から、「事故や事件の数の変化やその背景などに着目し、問いを見出しているか」を評価する。</p>

		<p>な人の協力があつたからだ。</p> <p>動に関心をもたせる。</p>	
		<p>学習問題 事故や事件からわたしたちの安全を守るために、だれが、どのようなはたらきをしているのでしょうか。</p> <p>③学習問題について予想し、調べること・調べ方・まとめ方を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警察官の仕事について調べよう。 ・警察署や交番で話を聞こう。 ・安全を守るためのはたらきを表にまとめる。 	<p>◆前小单元「火事からくらしを守る」の学習を想起させ、調べる方法・まとめ方等を考えるようにする。</p>
			<p>【態度①】 発言内容や学習計画表の内容から、「事故や事件から地域の安全を守る働きについて、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。</p>
(2) けいさつの仕事			
<p>・調べる けいさつしょの人たちは、どのような取り組みをしているのでしょうか。</p> <p>p. 110~111</p>	1	<p>①地域社会で見かける警察の仕事調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全の呼びかけをしているパトカーを見たことがある。 ・交番では、警察官に道案内や落とし物の相談をしていました。 <p>②交番で働く警察官の話を読み、安全を守る取り組みについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故を減らすためには、法やきまりを守ることが大切だ。 <p>警察官は、地域の安全を守るために、地域社会の中でさまざまな活動をして事故などの緊急時に備えている。</p>	<p>◆警察の仕事にはさまざまなものを、人に注目させながら調べ、考えさせる。</p> <p>◆安全な生活を守るために、自分たちができることとして、ルールやきまりを守ることが大切であるということに気づかせる。</p> <p>◆警察官のほかに、だれがまちの安全を守っているか考えさせる。</p>
			<p>【知技①】 発言内容や「仕事さがしメモ」の記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、警察官の活動の様子について理解しているか」を評価する。</p>
(3) 事故が起きたら			
<p>・調べる 事故が起きたとき、さまざまな人がすぐにかけることができるのは、なぜでしょうか。</p> <p>p. 112~113</p>	1	<p>①交通事故現場で働く人のイラストから、事故がどのように処理されるかを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな人が協力している。 ・救急車や消防自動車も現場にかけつけている。 ・どうしてすぐに事故 	<p>◆交通事故の現場で警察はどのような人たちと協力し合っているかを考えさせる。</p> <p>◆事故が起きたときには、どのような流れをたどって連</p>
			<p>【知技①】 発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、事故が起きた際の関係機関の連携について理解しているか」を評価する。</p>

		<p>の現場にかけつけることができるのだろう。</p> <p>②事故が起きたときの連絡の流れについて、イラストから調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火事の時と同じように、連絡はまず通信指令室に届く。 ・連絡を受けた関係機関は、直ちに事故現場に向かっている。 <p>事故が起きたとき、さまざまな関係機関が、通信指令室を中心にネットワークを活用し、相互に連携して迅速に対処する体制をとっている。</p>	<p>絡が届き、事故の処理が行われているかを、「火事」の学習を想起させながら考えるようにする。</p>	
--	--	---	---	--

(4)安全なまちづくり

<p>・調べる 地いきの人たちは、まちの安全を守るためにどのような活動をしているのでしょうか。</p> <p>p. 114~115</p>	1	<p>①こども 110 番の家など学校周辺における安全を守る活動について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども 110 番のステッカーを見たことがあるよ。 ・登下校のとき、地域の人々がパトロールしているところを見たことがある。 <p>②「わたしたちのまちの安全を守るしくみ」の図から、地域の人々が安全を守る活動について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の安全を守っているのは、警察だけでなく、お店の人や地域の人もいる。 ・こども 110 番のほかに、地域にはどのような取り組みがあるのだろうか。 <p>こども 110 番の家の設置など、関係機関が地域の人々と協力して、地域の安全を守っている。</p>	<p>◆身近な地域の様子を思い浮かべながら話し合わせる。</p> <p>◆なぜ、さまざまなお店や地域の人々が活動しているかについて話し合い、事故や事件が起こらないように工夫や努力をしていることに気づかせる。</p>	<p>[知技①] 発言内容やノートの記事内容から、「必要な情報を集め、読み取り、まちの安全を守る地域の人々の活動について理解しているか」を評価する。</p>
---	---	--	---	---

(5) 地いきでの取り組み				
<p>・調べる 地いきの人たちは、安全なまちづくりのために、どのような取り組みをしているのでしょうか。 p. 116~117</p>	1	<p>①町会や商店街などの地域社会における安全を守る取り組みについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全な場所を書き入れた安全マップをつくっている。 ・町会や商店街など、さまざまな人たちが一緒になって、安全なまちづくりを進めている。 <p>地域の人々は、警察やPTA、市役所などと連携しながら安全なまちづくりに努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域の人たちによる、安全を守る自主的な活動に目を向けさせる。 ◆安全マップなど、自分たちの地域でも取り組んでいる活動があることを気づかせる。 	<p>【知技①】 発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、まちの安全を守る地域の人々の協力について理解しているか」を評価する。</p>
(6) 安全を守る人の活動をまとめる				
<p>・まとめる まちの安全を守る人について表をつくり、事故や事件から暮らしを守るはたらきについてまとめましょう。 p. 118~119</p>	1	<p>①これまでに調べた安全を守る人々の活動を、表にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々は、協力して安全なまちづくりを進めている。 ・自分も協力できることがあったら、協力したいと思う。 <p>②「事故や事件をへらすには、どうしたらよいか」について話し合い、意見文を書く。</p> <p>事故や事件から地域の人々の安全を守るために、警察署などの関連機関は相互に連携して、緊急時に対処する体制をとったり地域の人々と協力したりしながら事故などの防止に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆これまでの学習をふり返り、人に注目して、安全を守る仕事について考えさせる。 ◆安全なまちづくりを実現するために、警察の人が協力していることに気づかせる。 ◆話し合ったことをもとにして、緊急時への備えについて意見文に書くようにする。 	<p>【知技②】 表や意見文などの内容から、「調べたことをまとめて、関係機関が地域の人々と協力して事故などの防止に努めていることを理解しているか」を評価する。</p> <p>【思判表②】 表や意見文などの内容から、「連携・協力している関係機関の働きを比較・分類、または結び付けて、相互の関連や従事する人々の働きを考えたり、学習したことをもとに地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考えたりして表現しているか」を評価する。</p>

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
(1)自分たちにもできること				
<p>・いかす わたしたちの暮らしを守るために、自分たちにもできることを考えてみましょう。</p> <p>p. 120～121</p>	1	<p>①学習してきたことをふり返り、自分たちにもできることはないか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防署のホームページに「火の用心の7つのポイント」があるから、自分もやってみたい。 東京交通少年団の取り組みに参加してみたい。 <p>②わたしたちの暮らしを守っていけるようにするための、標語をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「火の用心 主役はいつも わたしたち」 つくった標語は、みんなに伝えたい。 <p>地域の安全な暮らしを守る取り組みをふり返り、地域社会の一員として自分たちにもできることを標語にしてまちの人に伝えることは、地域や自分自身の安全を守ることにつながる。</p>	<p>◆「まなび方コーナー」を参考にし、標語のつくり方を確認させる。</p> <p>◆つくった標語を、それぞれくらしを守る意識を高めさせる。</p>	<p>【態度②】 作成した標語や発言内容から、「学習したことをもとに、地域や自分自身の安全を守るために自分たちにもできることなどを考えようとしているか」を評価する。</p> <p>【思判表②】 作成した標語や発言内容から、「消防署や警察署の働きについて学習したことをもとに地域や自分自身の安全を守るために自分たちにもできることなどを考え、選択・判断したりして、標語に適切に表現しているか」を評価する。</p>

単元名	4. 区のうちりかわり (オリエンテーション)		教科書の ページ	p. 122～123
配当時数	1 時間	活動時期	2 月	学習指導要 領の内容
				(4) アイ

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
(1)オリエンテーション				
<p>・わたしたちのまちの、昔の様子を見てみましょう。 p. 122～123</p>	1	<p>①教科書のイラストを読み取り、今と違うことや変わってきたことを話し合う。</p> <p>[おじいさん・おばあさんが子どものころ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気機関車が走っている。 ・今は見かけない形の車がある。 ・着物を着た人がいる。 ・田んぼが多い。 ・今と違って、港のあたりは砂浜が広がっている。 <p>[お父さん・お母さんが子どものころ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新幹線が走っている。 ・道路が整備された。車の数も増えた。 ・高い建物が増えた。学校も大きくなった。 ・砂浜が埋め立てられた。 ・田んぼが減って、家が増えた。 <p>[今]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高い建物がさらに増えた。 ・駅や港の施設も大きくなった。 ・田んぼや畑はほとんどない。 ・まちの様子は大きく変わっているけれど、神社やお菓子屋さんのように、変わらず残っているところもある。 	<p>◆イラストの中から、小単元の学習で着目する視点（交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具）などをそれぞれ意識して見つけさせる。その際、現在とどんなところが違うのか説明させるとよい。</p>	<p>【思判表】</p> <p>発言内容やノートの記述内容から、「区や人々の生活の様子の時期による違いに着目して、問いを見出しているか」を評価する。</p>
		<p>めあて わたしたちのまちや人々のくらしは、どのようにかわってきたのか調べてみましょう。</p>		

小単元名	1. 区の様子と人々のくらしのうつりかわり		教科書のページ	p. 124～141
配当時数	10 時間	活動時期	2～3 月	学習指導要領の内容 (4)ア-(7) (イ), イ-(7)

小単元の目標		区の様子の変り変わりについて、交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、関係者や地域の人などに聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめることで区や人々の生活の様子をとらえ、それらの変化を考え、表現することを通して、区や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	①交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いについて関係者や地域の人などに聞き取り調査をしたり地図などの資料などで調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、区や人々の生活の様子を理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ、区や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解している。
	思考・判断・表現	①交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、問いを見出し、区や人々の生活の様子について考え表現している。 ②駅や鉄道、公共施設ができたこと、人口が変化してきたこと、土地利用の様子や生活の道具が変わったことなどを相互に関連付けたり、区の様子の変化と人々の生活の様子の変化を結び付けたりして、区の人々の様子の変化を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①区の様子の変り変わりについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことをもとに、これからの区の発展について考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
(1)かわってきた明石駅				
<p>・つかむ 明石駅のまわりはどのようにかわってきたのでしょうか。</p> <p>p. 124～125</p>	1	<p>①「70 年から 60 年ほど前」「50 年から 40 年ほど前」「今」の 3 枚の明石駅前の写真をくらべて気づいたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真の色が違う。 ・きれいになってきた。 ・高い建物が建ってきた。 ・道路が広がった。 ・鉄道が増えた。 <p>②「近くに住むおばあさんの話」などから昔の様子についてわかったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争の空襲でまちは焼けた。 ・戦後に大きな火事が 	<p>◆事前に身近な人から、昔の様子について聞いてくるように指示しておく。</p> <p>◆明石駅前の 3 枚の写真を比べながら、特徴のある建物や交通の様子の変化に気づかせる。</p> <p>◆明石駅前の様子の変化から時期の区分を意識させる。</p>	<p>[思判表①] 発言内容やノートの記述内容から、「交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、問いを見出しているか」を評価する。</p>

		<p>あった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頑張って新しいまちをつくった。 <p>明石駅のまわりは、昔から今に至るまで、建物や施設などの様子が変わってきた。</p>		
--	--	---	--	--

(2)かわってきたわたしたちの区

<p>・つかむ 区の様子のおつりかわりについてぎもんに思ったことを話し合い、学習問題をつくりましょう。 p. 126~127</p>	1	<p>①「70年から60年ほど前の明石区の土地の高さと土地の使われ方」と「今の明石区の土地の高さと土地の使われ方」の地図を比べて、気づいたことや疑問に思ったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家や店が多くなった。 ・土地が広がった。 ・鉄道や工場が増えた。 ・田や畑が減った。 ・区はいつごろから変わってきたのだろうか。 ・くらしはどのように変わってきたのだろうか。 <p>②疑問に思ったことをもとにして学習問題をつくる。</p>	<p>◆「区の様子」の学習で作成した地図を使いながら、昔と今の違いを考えさせる。</p> <p>◆時期によって区の様子が違っていることに気づかせ、区の移り変わりに関心をもたせる。</p>	<p>【態度①】 発言内容や学習計画表の内容から、「区の様子の変りについて予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。</p>
		<p>学習問題 わたしたちの市は、いつごろ、どのようにかわってきたのでしょうか。</p>		
		<p>③学習問題について予想し、調べること・調べ方・まとめ方について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通や土地利用、人口、公共施設、道具の移り変わりについて調べる。 ・博物館や区役所に行き、見学や聞き取り調査をする。 ・区の様子やくらしの移り変わりについて年表にまとめる。 		

(3) 道路や鉄道のうつりかわり				
<p>・調べる 区交通は、どのようにかわってきたのでしょうか。</p> <p>p. 128～129</p>	1	<p>①「70年から60年ほど前」「50年から40年ほど前」「今」の鉄道や道路の地図を比べて、交通が整備されてきた様子を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治時代に明石駅ができた。 ・昭和の初めごろに道路や鉄道が整備された。 ・1970年ごろに高速道路や新幹線ができた。 <p>②道路や鉄道が整備されることによって、わたしたちの生活はどのように変わってきたのかについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車が通りやすくなって便利になった。 ・新幹線ができてはやく移動できるようになった。 ・交通が便利になって、家や工場が増えたのではないかな。 <p>明石市の主要な道路や鉄道などの交通網は、昔から今に至るまで計画的に整備されてきており、人々の生活も変わってきた。</p>	<p>◆鉄道と道路の広がりに着目して、時間の経過に伴う生活の変化について考えさせる。</p> <p>◆鉄道や道路の変化と既習の p. 126～127の「明石区の土地の高さと土地の使われ方」の二つの地図の変化を関連付けて考えさせる。</p>	<p>[知技①] 発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、区交通の様子は時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解しているか」を評価する。</p>
(4) 土地の使われ方のうつりかわり				
<p>・調べる 区土地の使われ方は、どのようにかわってきたのでしょうか。</p> <p>p. 130～131</p>	1	<p>①「70年から60年ほど前」「50年から40年ほど前」「今」の土地の使われ方について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・70年から60年ほど前に比べて、田や畑が減った。 ・森林がどんどん減ってきた。 ・50年から40年ほど前から家や店が増えた。 ・海を埋め立てた土地は工場や公園に使われている。 	<p>◆既習の p. 126～127の二つの地図を使いながら、土地利用図に色分けを行い、時期による違いを考えさせる。</p>	<p>[知技①] 発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、区土地の使われ方は時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解しているか」を評価する。</p>

		<p>②土地の使われ方の変化からわかることについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家や店が増えたということは、人の数も増えたのではないか。 ・人がたくさん住み、生活するようになって、大きな団地や人口の島がつけられたのではないか。 ・人々が楽しく生活できるように公園がつけられたのではないか。 <p>明石市の土地利用の様子は、昔から今に至るまで大きく変化しており、人々の生活も変わってきた。</p>	<p>◆土地の使われ方として何が増え、何が減ったかに着目して、時間の経過に伴う生活の変化について考えさせる。</p>	
--	--	---	--	--

(5)人口のうつりかわり ★他教科との関連：国語

<p>・調べる 区の人のは数は、どのようにかわってきたのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">p. 132～133</p>	<p>1</p>	<p>①区の人口の移り変わりのグラフを読み取り、気づいたことや疑問に思ったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区は人口は増えている。 ・人口が大きく増えている時期がある。 ・なぜ人口が急に増えたのだろうか。 <p>②人口の変化と土地の移り変わりの資料から、人口が増えた理由について考えたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明石区は、1942年と1951年にまわりの町や村と一緒にいる。 ・人口の増加と土地の広がりには関係がありそうだ。 <p>③最近の人口の変化についての資料から、わかったことや考えたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口の増え方がおだやかになってきた。 ・お年寄りの人数が平 	<p>◆区は人口の変化と土地の広がりに着目して、その関係について考えさせる。</p> <p>◆区役所の人へのインタビューのしかたを指導する（「まなび方コーナー」を活用）。</p>	<p>[知技①] 発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、区は人口は時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解しているか」を評価する。</p>
---	----------	---	---	---

		<p>成になってから急に増えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国の人の数も増えている。 <p>明石市の人口は、昔から今に至るまで市町村の合併などの土地の広がりに合わせて増えており、今では特に、お年寄りや外国の人の数が増加してきた。</p>		
--	--	---	--	--

(6) 公共しせつのうつりかわり				
<p>・調べる 区の主な公共しせつは、いつごろできたのでしょうか。</p> <p>p. 134～135</p>	1	<p>①わたしたちの学校や区の学校はいつ頃できたのかについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしたちの学校は明治時代にできている。 ・区の学校の数は増えている。 ・ため池を埋め立ててつくった学校もあるそうだ。 <p>②どのような公共施設がいつ頃できたのか、調べてわかったことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔に比べて公共施設は増えている。 ・50年ほど前にたくさんつくられている。 ・便利な施設が増えている。 ・公共施設は、だれが、どうやってつくっているのだろうか。 <p>明石市の学校や図書館などの公共施設は、昔から今に至るまで計画的に建設されており、税金を使って整備された施設によって人々の生活も変わってきた。</p>	<p>◆自分たちが利用したことのある公共施設を想起させながら、その移り変わりについて関心をもたせる。</p> <p>◆「区の様子」で学習した公共施設の種類、場所、目的と関連付けて施設の移り変わりについて考えさせる。</p>	<p>[知技①] 発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、区の公共施設は時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解しているか」を評価する。</p> <p>[態度①] 発言内容やノートの記述内容から、「区の様子」の移り変わりをふり返り、さらに調べるべきことを考え、生活の道具の移り変わりについて調べる見通しをもっているか」を評価する。</p>

(7) 道具とくらしのうつりかわり				
<p>・調べる くらしの中の道具は、どのようにかわってきたのでしょうか。</p> <p>p. 136～137</p>	1	<p>①くらしの道具の移り変わりについて、調べたことを道具年表にまとめ、わかったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔と今の道具は大き 	<p>◆洗濯機などの生活の道具の移り変わりに着目して、くらしの変化について考えさせる。</p>	<p>[知技①] 発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、生活の道具は時間の</p>

		<p>な違いがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 昔は電気を使わない道具だった。 洗濯機やガスコンロなどの道具は改良されて生活が便利になった。 	<p>◆道具年表の作り方を指導する（「まなび方コーナー」を活用）。</p>	<p>経過に伴い、移り変わってきており、人々の生活も変化したことを理解しているか」を評価する。</p>
		<p>昔から今に至るまで、くらしをよりよくしようとする人々の願いによって道具はさまざまに工夫され使われてきており、人々の生活も変わってきた。</p>		

(8) (9) 区のうつりかわりをまとめてみよう

<p>・まとめる 区のうつりかわりを年表にまとめてみましょう。</p> <p>p. 138～139</p>	2	<p>①学習問題を確認した上で、これまで調べたことを一つの年表に整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅前の様子、交通、土地の使われ方、人口、公共施設、くらしの道具 <p>②年表を見ながら時期ごとの変化についてわかったことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 明石区は70年から60年ほど前に、まわりの区町村が一緒になって土地が広がり、人口も増えた。 昭和の初めに道路や鉄道が整備された。 50年から40年ほど前に高速道路や新幹線が整備された。 新しいくらしの道具が使われるようになり、生活が便利になった。 明石区はこれからどのように変わっていくのかな。 	<p>◆小単元で使った「ことば」を生かしながら年表をまとめるように指示する。</p> <p>◆「70年から60年ほど前」「50年から40年ほど前」「今」の3つの時期ごとの変化の傾向について考えさせる。</p>	<p>【知技②】 ノートや年表の記述内容から、「調べたことをまとめて、区や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解しているか」を評価する。</p> <p>【思判表②】 発言やノート、年表の記述内容から、「学習したことをもとに、交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具が変わったことを相互に関連付けたり、区の様子の変化と人々の生活の様子の変化を結び付けたりして、区や人々の様子の変化を考え表現しているか」を評価する。</p>
		<p>市や人々の生活の様子は、交通網の整備や公共施設の建設、土地利用や人口の変化、生活で使う道具の改良など、時間の経過に伴い移り変わってきている。</p>		

(10) 区のはってんのために				
<p>・いかす わたしたちの区のこれからについて考えましょう。</p> <p>p. 140～141</p>	<p>1</p>	<p>① 区のための取り組みについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが住みたい・住みつづけたいまちを目指している。 ・天文科学館は区の「たからもの」だね。 <p>② 学習してきたことを生かしながら、これからどのような明石区になってほしいかを話し合い、ポスター「みらいの明石区」にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもやお年寄りが楽しくくらせるまちにしたい。 ・ほかのまちに短い時間で行き来できる、便利なまちにしたい。 ・体の不自由な人や外国の人でもくらしやすいまちにしたい。 ・明石区のよいところを紹介して、たくさんの人に集まって欲しい。 <p>明石市の人々は、市の発展のためにさまざまな取り組みをしており、わたしたちも市の未来について考えていくことが大切である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 区の広報紙などを手がかりに、区のための取り組みについて調べさせる。 ◆ 今まで学習した教科書の資料や、ノートの記事などを見直させて、これからの区について考えるように助言する。 	<p>【態度②】 発言内容やポスターの内容から、「学習したことをもとに、これからの区について考えようとしているか」を評価する。</p>